

濃昼山道縦走

参加者・工程（4時間40分）

藤木（た）CL以下11名

平成24年9月29（土）

濃昼側入口発：9時20分

旧山道出合（270m）：10時10分

濃昼峠（357m）：10時37分

三差路（210m）：11時50分（昼食）

大沢渡渉：13時12分

安瀬側濃昼山道入口着：14時00分

幌別駅に6時集合、樽前から相馬氏が加わり、札幌北で降車、石狩街道を一路厚田に向かう。

濃昼側山道入口：9時20分発



雨の心配は全く無く、路傍の草花を愛でながら、ジグを切って峠を目指す。



標識が1000m毎に付いていた。



300mも登る。結構な登山だ、山道は良く整備されていて、気持ちが良い。

旧山道は奥に大きく迂回されていた相だ。



峠手前の眺望が素晴らしく、疲れを癒してくれた。



濃昼山道峠（357m）10時37分到着



随時休憩を採りながら、先を急ぐ。



下りも相当な折り返し道が続き、直ぐ下方を先頭者が歩いている、落石には細心の注意を配りながら下る。大島内川2本を渡る。両サイドの石積み橋土台が残っていた。



前回迷った三差路(210m) 11時50分到着
ああ腹減った、大休止昼食を摂る。



30分の大休止後、12時20分出発
昭和初期に電柱を立て、其の朽ち果てた残骸が散見された。



処何所か山道の右側(海側)は断崖で120~30m切れ落ち、青い海が木間越に見えた。誤って落ちたら、桑原くわばら。

山道一番の大沢を渡渉する。(13時12分)



走行車の音が聞こえて来た、ゴールは間近かみんなのピッチが上がる。

安瀬(やすすけ)側濃昼山道入り口に14時0分到着。お疲れさん。



約5時間弱の山行で有ったが、天候にも恵まれ、大満足の山道歩きでした。
新篠津温泉で汗を流し、18時40分に帰宅。
秋に再訪したい濃昼山道でした。

記録 近藤